

6 その他

(1) 平成 22 年度富里市国民健康保険特別会計決算状況について

平成 22 年度国民健康保険特別会計決算額は、歳入 51 億 5,889 万円で、前年度の 49 億 10 万円から 2 億 5,879 万円、5.28%の増となった。また、歳出については、50 億 921 万円で、前年度の 48 億 4,186 万円から 1 億 6,735 万円、3.46%の増となった。

歳入のうち、国民健康保険税は、183 万円、0.12%の増となった。内訳として、一般被保険者に係る国民健康保険税は、101 万円、0.07%の減となったが、退職被保険者に係る国民健康保険税は、284 万円、2.23%の増となった。収納率は、一般被保険者が 1.53%の増、退職被保険者が 1.67%の増となった。

国庫支出金は、3,283 万円、2.38%の増となった。うち、特定健康診査等負担金は補助単価が上がったので、164 万円、35.84%の増となった。また、財政調整交付金は、千葉県において広域化に向けて保険財政共同安定化指針を策定し、収納率に応じた減額が解除されたため 2,341 万円、11.02%の増となった。

療養給付費交付金は、883 万円、4.36%の増となった。うち、過年度分として平成 21 年度の精算金が 654 万円あった。

前期高齢者交付金は、平成 20 年度の精算金があったため、2 億 1,691 万円の増となった。

県支出金は、1,911 万円、7.57%の増となった。うち、特定健康診査等に係る県の負担金は国同様 164 万円、35.84%の増となった。

共同事業交付金は、121 万円、0.23%の増となった。

財産収入は、基金残高の減少により 42 万円、71.12%の減となった。

繰入金は、2,885 万円、5.55%の減となった。内訳として、基金からの繰入金は 9,118 万円、67.41%の減、一般会計繰入金は 6,233 万円、16.21%の増となった。そのうち、法定外の繰入金としてその他一般会計繰入金は 2 億円となった。

繰越金は、472 万円、19.60%の増となった。

諸収入は、延滞金及び過料が増となったことから 261 万円、15.86%の増となった。

歳出のうち、総務費は、335万円、8.09%の増となった。

保険給付費は、2億3,296万円、7.64%の増となった。保険給付費のうち、一般被保険者療養給付費は、1億5,875万円、6.38%の増、退職被保険者療養給付費は、2,250万円、11.03%の増となった。また、一般被保険者療養費は、439万円、17.18%の増、退職被保険者等療養費は、160万円、148.92%の増となった。高額療養費は、一般被保険者高額療養費が3,334万円、13.32%の増となった。出産育児一時金は支給額が平成21年10月から4万円上がったことにより1,106万円、30.14%の増、葬祭諸費は前年同額となった。

後期高齢者支援金は、4,122万円、5.38%の減、前期高齢者納付金は93万円の減、老人保健拠出金は平成19年度で廃止のため2,205万円、85.82%の減、介護納付金は2,317万円、7.23%の増となった。

共同事業拠出金は、95万円、0.17%の増、保健事業費は63万円、2.50%の減、基金積立金は、17万円の皆増、諸支出金等は2,843万円、71.79%の減だった。

また、国民健康保険特別会計準備基金は、平成21年度末現在残高は2,102万円であったが、平成23年度当初予算編成後の残高は、652万円となった。